

●金岡球場(東大阪市)

(15分前に管理人が開錠します、退出時ベンチの掃き掃除を忘れずに。トンボは所定の位置に)

1段目のフェンスの上端を打球がノーバウンドで越えればホームラン、バウンドして越えて跳ね返った場合はフリー。例えば野手が1段目のフェンスより上までよじ登ってノーバウンドで捕球した場合は打球がノーバウンドで越えていないことになるので通常のフライアウトと同じ。
打球が外野のフェンスに乗った場合はエンタイトルツーベースとする。

●吉原球場(東大阪市)

(15分前に管理事務所にて鍵をもらって開けます、終わったら施錠して返しに行きます。ベース、トンボなど所定の位置に)

手前のフェンスをノーバウンドで越えればホームラン、バウンドして越えればエンタイトルツーベースとする。レフト側奥にあるネットに当ってグラウンド内に跳ね返ったとしてもフリーではない。
外野後方からグラウンドにせり出した樹木に打球が触れた場合は一旦インプレーとし、樹木がなければどうなっていたかを審判団が判断し最終的に主審がジャッジを下す。

●門真青少年運動広場(門真市)

(15分前に管理人が開錠します、駐車は野球場専用の場所のみに)

ノーバウンドでフェンス最上部のネットに当たればホームラン、ギリギリの場合で判断に迷う場合、またクレームがついた場合は目視で一番わかりやすい主審の判断を最良とする、または協議をして判断する。網の裂け目からボールが場外へ出た場合はエンタイトルツーベースとする。

●久宝寺軟式野球場(A、Bコート)(八尾市)

(15分前に管理事務所から鍵をもらって開けます、終わったら返しに行きます、ベース、トンボなどの片付け忘れずに)

ノーバウンドでフェンスを越えればホームラン、バウンドして越えればエンタイトルツーベースとする。それ以外はすべてフリー。1塁側や3塁側にある石段やベンチとの間の隙間、倉庫の周辺はボールデッドゾーンとする、必ず試合前に確認すること。
外野後方の対面するグラウンドのベンチなどに打球が飛び込んだ場合は単にエンタイトルツーベースとせず、その時点で走者が到達していた塁などを総合的に判断し三塁打またはホームランとする場合がある

●深北緑地野球場(大泉市)

(15分前に管理人が開錠します、サブグラウンドも開けてくれます。施錠せずに帰ってOK、トンボなどの片付け忘れずに)

フェアゾーンの上空を通る電線にフライが当たった場合もインプレーとし、地面に落下するまでに捕球すればアウトとする。仮に打球の方向が変わったとしてもその後の落下地点でフェアかファウルかを判定する。

平成28年1月吉原球場、久宝寺軟式野球場を改正

平成29年1月金岡球場エンタイトルツーベースの文言を追加

平成30年1月すべての球場の鍵の施錠、開閉などについて記載